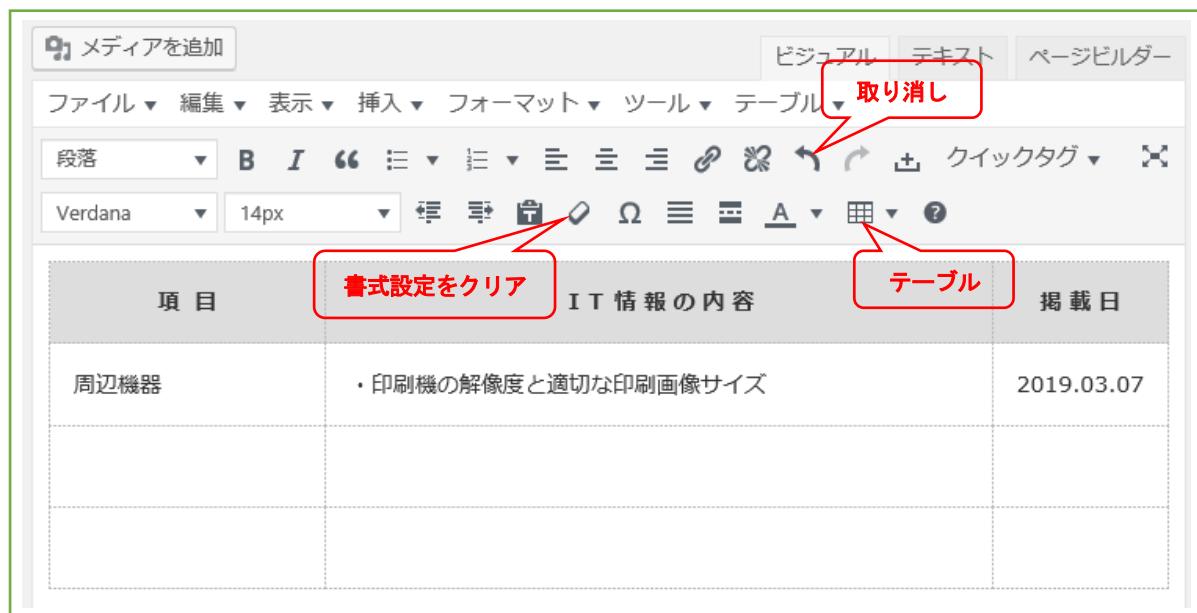


WordPress の表作成 (TinyMCE Advanced)

松愛会のWordPressには「表作成」を含むエディタとして、プラグイン「TinyMCE Advanced」がインストールされています。2021/9/24に、このプラグインの「テーブル用の高度な設定」で、「マウスのドラッグでのテーブル、行、列のサイズ変更を可能にする」のチェックをはずしました。以降、width の指定はは残りますが、height の指定はなしになりました。

<表作成の基本>

このプラグインは「ビジュアル」モードでも使いやすいように作られおり、下図は3列4行の表の一例です。表を作った直後の各セルの幅は等分されて、「%」値が指定されます。最初に各セル幅を調整をしてください。このセル幅の調整だけは「テキスト」モードでするのがお奨めです。



<セル幅の調整>

- 表作ると初期状態では、全てのセルは横幅は「%」で等分化されて、その合計は100%になっています。例えば上表のような3列4行の場合は、全てのセルで「style="width: 33.33%;」と指定されます。
- セル幅の調整の第一のポイントは **1行目のみ セル幅を「%」で調整する** ことです。セル幅の合計は100%にしてください。2行目以降のセルはその指定は不要です。指定があれば削除しましょう。
- ムダなプロパティのない表を素早く作るコツ があります。まず2~3行の表を作り、ここでムダなwidthやheightを削除し、必要なセルのプロパティを全てのセルに指定します。その後、必要に応じて「行を上に挿入」や「行を下に挿入」すると、指定したセルのプロパティを引き継いで大きい表が完成します。

<表作成の手順>

上図の1行目は「太字」で「中央揃え」で、かつ「背景色」が付いています。こんな見出しセルを「ヘッダーセル」といいます。2行目以降は一般のデータセルになっており、ここでは単に「セル」といいます。この表の作り方を手順に従って作っていくことにします。

1. 表の挿入：

右図「テーブル」ボタンを押し、表の行と列を右下方向に（マウスを押さずに）なぞって行き、任意のセル（例えば3列4行の最後のセル）をクリックして表を作ります。表を構成するセルはWordPressのページ幅一杯に等分化されて作られます。セルに画像があったり、多くの記述がある場合は、列の数はスマート表示のことを考えると、一般に4列ぐらいまでにしましょう。



2. 文字入力はデフォルト左寄せ

表のセル内に順次文字を入力していきます。文字はデフォルトの左寄せで入力されます。中央揃えや右寄せにしたいときは、3. 項に従います。

3. セルの幅・種類・配置の指定：

表の1行目1列のセルをクリックして、「テーブル」ボタン～「セル」～「セルのプロパティ」をクリックします。右図で幅：25%、セルの種類：ヘッダーセル、横配置：中央を指定します。1行目2列のセル以降も、は同様に指定します。

「セルのプロパティ」の「横配置」は、エディタのメニューの「中央揃え」ボタンを押しても同じです。必要なら「縦配置」も指定しましょう。なお、「セルのプロパティ」では多くのセルを選択して、一度に同じ設定をすることもできます。



行を選択して「行のプロパティ」から設定すると、表体系が難しくなって設定がややこしくなることがあります。こんなときはセルを1つずつ設定するのが無難のようです。

4. セルの結合：

複数のセルを結合するには、結合したいセルを選択～メニューの「テーブル」ボタン～「セル」～「セルの結合」をクリックします。ただし、セル結合が実際にできるのは ヘッダーセル (th) のみで縦横ともに可能です。一般セル (td) は縦横とも見かけ上は可能ですが、「更新」すると左端にセルが移動（右方のセルがなくなる）してセル結合はできません。

ということは、結合したいセルを th に指定すれば、任意のセルでセル結合が可能です。ただ、th の背景色は「セルのプロパティ」～「高度な設定」から、他の td と同じ色に変える必要があります。

5. 行と列の追加と削除 :

行や列の追加や削除は、その行や列のいずれかのセルをクリックして、メニューの「テーブル」ボタン～「行」または「列」から実行できます。

6. 表やセルの修飾 :

表・セル・行の「プロパティ」画面には、「一般」タブと「詳細」タブがあります。今までではすべて「一般」タブで説明してきましたが、「詳細」タブからは枠線の色や背景色などを指定することもできます。

7. セルに画像を挿入 :

セルの中に画像を入れることも可能です。そのセルをクリックして「メディアを追加」から操作します。メディアの各種設定は、キャプション：なしのまま、配置：中央、サイズ：とりあえず中（200×150）、リンク先：メディアファイルとして、最後に「**投稿に挿入**」します。一つずつこの操作を繰り返します。全ての挿入が終わった後に、改めてメディアのサイズを「カスタムサイズ」で適当なサイズに修正します。

（注）キャプションを記述すると、スマホ画面に縦線が入ることがあるので注意しましょう。

<「テキスト」モードで表作成を確認>

この作成例の表を「テキスト」モード（html ソース）で見ると、次のようにになります。html と CSS に詳しい人は、この「テキスト」モードで直接下記のページを作っても構いません。

```
<table>
<tbody>
<tr>
<th style="width: 25%; text-align: center;"><strong>項目</strong></th>
<th style="width: 60%; text-align: center;"><strong>IT情報の内容</strong></th>
<th style="width: 15%; text-align: center;"><strong>掲載日</strong></th>
</tr>
<tr>
<td>周辺機器</td>
<td>・印刷機の解像度と適切な印刷画像サイズ</td>
<td style="text-align: center;">2019.03.07</td>
</tr>
<tr>
<td>&nbsp;</td>
<td>&nbsp;</td>
<td style="text-align: center;"></td>
</tr>
<tr>
<td>&nbsp;</td>
<td>&nbsp;</td>
<td style="text-align: center;"></td>
</tr>
</tbody>
</table>
```

以上